

平成22年度予算



一般会計予算105億1,900万円 前年度比0.5%減

平成22年度当初予算が3月の定例市議会でも可決されましたのでお知らせします。

一般会計は、105億1,900万円の前年に比べ0.5%減となっております。また、8つの特別会計および水道事業会計の総額は、78億5,368万円となり、合わせて総額183億7,268万円となります。

一般会計予算の概要

歳入予算については、現在の厳しい経済情勢の中、個人所得や企業業績が落ち込むことによる市税の減収が見込まれるなど、引き続き財源の確保に苦慮しています。

しかし一方で、普通交付税において「地域主権改革」として、地方が自由に使える財源の強化を図り、地域のニーズに応えられるようにする財政対策経費などの増額が期待できる状況にあります。

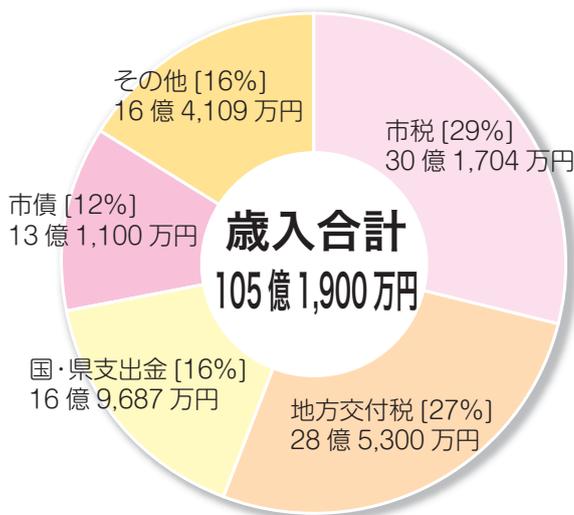
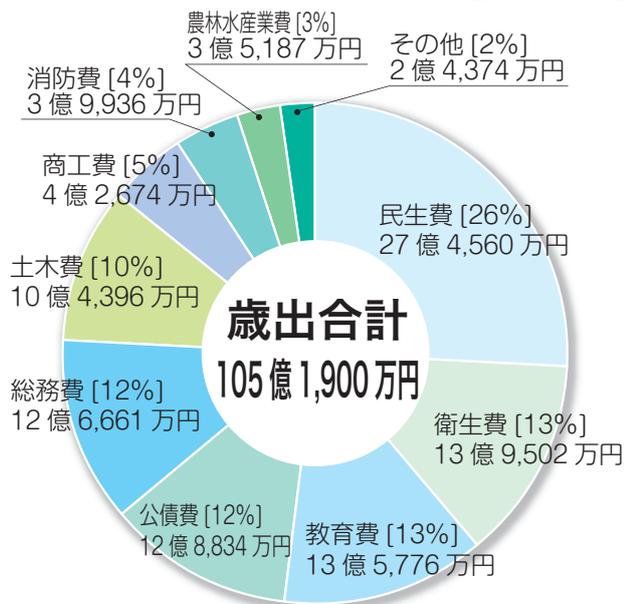
また、歳出予算では、子ども手当創設による経費や弘道小学校の校舎および幸丘の市営住宅の建設事業のほか、かもめバス運行事業や保健事業などを展開して教育・生活環境の充実を図る経費に重点を置いて進めていきます。

平成22年度 鳥羽市 予算

(単位：千円)

会計名	平成22年度当初予算 (A)	平成21年度予算 (6月補正後) (B)	前年度比較		
			増減額 (A - B) = C	伸率(%) (C ÷ B) × 100	
一般会計	10,519,000	10,570,000	△ 51,000	△ 0.5	
特別会計	1. 国民健康保険事業	3,211,500	3,144,400	67,100	2.1
	2. 介護保険事業	1,964,000	1,730,000	234,000	13.5
	3. 定期航路事業	545,600	586,000	△ 40,400	△ 6.9
	4. 特定環境保全公共下水道事業	157,800	155,700	2,100	1.3
	5. 福祉資金貸付事業	1,350	1,200	150	12.5
	6. 住宅新築資金等貸付事業	400	830	△ 430	△ 51.8
	7. 老人保健医療	3,000	2,600	400	15.4
	8. 後期高齢者医療	432,800	406,300	26,500	6.5
	計	6,316,450	6,027,030	289,420	4.8
企業会計	水道事業	1,537,230	1,667,198	△ 129,968	△ 7.8
合計	18,372,680	18,264,228	108,452	0.6	

一般会計予算の内訳は？



市民1人当たりで計算すると・・・

負担するお金	使われるお金			
市税 134,840円	総務費…市全般の管理事務など	56,608円	民生費…高齢者福祉、児童福祉など	122,708円
	衛生費…保健衛生やごみ、し尿の処理など	62,347円	土木費…道路、河川、都市計画など	46,658円
	消防費…消防、救急、救助など	17,848円	教育費…小・中学校や幼稚園の整備など	60,682円
	公債費…市の借入金の返済	57,580円	その他…農林水産、商工業の振興など	45,692円
	合計		合計	470,123円

※市税約30億円を、3月1日現在の人口22,375人で割ったものです。

※目的別の各項目を、3月1日現在の人口22,375人で割ったものです。

収		入	
22年度 一般会計予算		家計簿	
市税など自主財源	42億 5,982万 4千円	→ 月収(給料など)	141,994円
国・県支出金などの依存財源	49億 4,817万 6千円	→ 親からの仕送り	164,939円
市債など	13億 1,100万円	→ 借金	43,700円
うち建設的な市債	9億 3,100万円	→ 住宅ローン	31,033円
うち特例的な市債	3億 8,000万円	→ 生活費借入	12,667円
収入計	105億 1,900万円	→ 収入計	350,633円

支		出	
22年度 一般会計予算		家計簿	
公債費	12億 8,834万 3千円	→ 借金の返済	42,945円
人件費	25億 1,237万 9千円	→ 生活必需費	83,746円
扶助費	11億 594万円	→ 家族の医療費	36,864円
物件費など	19億 1,520万 1千円	→ 光熱水費など	63,840円
投資的経費・維持補修	18億 8,744万 6千円	→ 自宅の新築・増改築	62,915円
補助費・出資金・貸付金	7億 8,913万 4千円	→ 町内会費など	26,304円
繰出金	9億 590万 2千円	→ 子どもへの仕送り	30,197円
積立金	1億 1,465万 5千円	→ 貯金	3,822円
支出計	105億 1,900万円	→ 支出計	350,633円

資産の状況			
基金	11億 9,063万 2千円	→	貯金残高 39,688円
市債残高	122億 8,571万 3千円	→	ローン残高 409,524円

市の予算は、「億」単位で数字が大きすぎて実感がありません。そこで平成22年度一般会計予算額をわかりやすくするため、3万分の1に圧縮して家計の1か月分にたとえてみました。

平成22年度予算額を家計簿にすると・・・

教育・生活環境の充実に 重点を置いた編成

22年度は、「こどもたちの安全・安心」入湯税を利用したまちづくり」などを積極的に進めていきます。

また、子育て支援策の一環として、保育所・幼稚園に通う第2子目以降の保育料を無料にします。



22年度の主な事業は

● 地域雇用創出事業・ふるさと雇用再生事業

1億1,732万円

景気の低迷に伴う雇用情勢の悪化で離職されたかたがた

に対して、雇用機会を提供し、生活の安定を図るほか、観光施策として誘客を推進するなど、今後の事業展開へのしくみづくりを行います。

● 漁港整備事業

1億3,540万円

各漁港施設の改良・整備を行い、施設の機能向上を図ります。

● 少子高齢化対策事業

7,906万円

保育所、放課後児童クラブにAEDを設置するとともに、遊具の点検を行うことで、より安心度の高い子育て施策に継続して取り組みます。さらに、小中学校の特別支援学級などの介助員を増員したり、幼稚園にも介助員を配置して自立へのきめ細い支援を行います。

● 地方道路整備事業

1億4,794万円

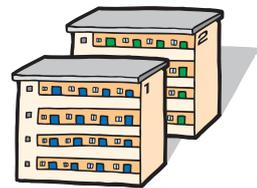
道路を中心とした整備事業

を、計画に基づき行っています。本年度は、国崎町の市道横山線を中心に着手し、道路環境の充実と安全を図ります。

● 市営住宅整備事業

4億3,677万円

幸丘に市営住宅3号棟を建設します。また、老朽化施設を解体し、居住環境の整備を行います。



● 地域交通事業

8,687万円

昨年より運行を開始した「かもめバス」の費用や、ミニタミナルの完成に伴う各交通機関との連携を図ったダイヤの見直しを行い、みなさんが利用しやすい運行を図ります。



● 小学校施設の改築・耐震改修事業

6億1,894万円

弘道小学校の校舎改築および加茂小学校特別教室棟の耐震補強と大規模改修を行い、児童の安全で安心な学校環境づくりを進めます。

● ごみ減量化・資源リサイクル事業

1億5,192万円

大明東町にあるリサイクルパークの管理運営経費や、事業系生ごみ処理機設置事業などに対する補助金の交付により、ごみの減量化や再資源化を推進します。

● 観光振興事業

1億5,932万円

中長期的な観光施策の指針として策定された、鳥羽市観光基本計画の戦略を推進するため、観光ホームページを多

国語対応にして更新していくほか、夜の魅力アップ事業として補助金を交付したり、動画・静止画のPRツールを作成して、広報宣伝戦略事業などを展開し、誘客への取り組みを強化するほか、サイン(看板)の設置などを行う観光案内サイン事業や、宿泊産業の活性化に向けた取り組みを行い、観光の目標を着実に実現していきます。

● まちづくり交付金事業

7,599万円

市道鳥羽臨港線(佐田浜港への道路)右折レーン設置工事を行い、繁忙期などの道路の渋滞緩和を図ります。

● へき地医療対策事業

3億8,891万円

へき地の医療機関となつていく診療所において、医師の確保や医療機器を整備し、医療体制などの確保を図ります。

